

採 択 基 準	基本 観 点	発行者名	
		9 開隆堂	116 日文
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫 別表 1	「学習のめあて」が題材ごとに3つの資質・能力に沿って明示され、特に重点的に育成を図りたい資質・能力が協調している。その資質・能力に対応するキャラクターが造形活動のポイントを示したり、児童のつぶやきで造形的な視点を示したり、表現と鑑賞を往還して活動できるよう工夫している。 学習指導要領に示された表現及び鑑賞領域の内容をバランスよく配分している。	「学習のめあて」では3観点を5項目に細分化し、育てたい力を題材ごとに示し、「指導と評価の一体化」の実現に向け工夫している。「表現のヒント」と「鑑賞のヒント」が明記され、学びを深められるように工夫している。表現と鑑賞を往還し活動できるように工夫している。 学習指導要領に示された表現及び鑑賞領域の内容をバランスよく配分している。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮 別表 2	児童の感覚や行為を大切にしたい題材が扱い、造形的な視点をもち活動する児童の写真やコメントをたくさん掲載し、造形的な視点が理解できるように図っている。 低、中、高と経験を重ねていけるよう題材を配置している。 巻末の「学びの資料」で、各学年に応じた形や色などの造形要素、表現技法や材料、用具の知識、片付け方をまとめている。 各題材ページの二次元コードから、用具の安全な使い方などを動画で確認できるようにしている。	児童の感覚や行為を大切にしたい題材が扱い、造形的な視点をもち活動する児童の写真やコメントをたくさん掲載し、造形的な視点が理解できるように図っている。 低、中、高と経験を重ねていけるよう題材を配置している。 巻末の「材料と用具のひきだし」で、各学年に応じた用具・材料の知識や使い方を示している。 各題材ページに二次元コードが掲載され、用具の安全な使い方などを動画で確認できるようにしている。
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮 別表 3	言語活動を重視した題材、共同で行うことを意図した題材を多く設定するとともに、児童が思ったことや工夫したことを会話文で示すなど、言語活動も伴いながら発想や構想をしたり、鑑賞したりする思考力・判断力・表現力等の育成を図っている。 題材ページの二次元コードから、「鑑賞」や「発想や構想」に児童が使えるワークシートが利用できたり、立体作品を回転させて鑑賞できたり、動く作品は動画で動く様子を鑑賞できるようにしている。	言語活動を重視した題材、共同で行うことを意図した題材を多く設定するとともに、児童が思ったことや工夫したことを会話文で示すなど、言語活動も伴いながら発想や構想をしたり、鑑賞したりする思考力・判断力・表現力等の育成を図っている。 題材ページの二次元コードから立体作品を回転させて鑑賞できたり、アートカードアプリで楽しみながら鑑賞の学習ができたり、アニメーションの製作を簡単に楽しめるようにしている。
	(3) 児童が主体的学習に取り組むことができる配慮 別表 4	視覚的に活動内容が捉えられるようにするとともに、各題材ページで「学習のめあて」が示され、見通しを持ち学習に臨み、最後の「ふりかえり」で身に付けた力を確認し、主体的に次の学習に繋げていけるよう工夫している。 題材ページの二次元コードから、題材の導入時に活動内容を捉えられる動画が視聴でき、「ふりかえり」のワークシートを児童が利用できるようにしている。	視覚的に活動内容が捉えられるようにするとともに、各題材ページに「学習のめあて」が示され、活動の終わりに「ふりかえり」を促す問いがあり、身に付けた力を確認し、主体的に次の学習に繋げていけるよう工夫している。 巻頭に「教科書の使い方」「学習の進め方」が掲載され、どのように学ぶかが示されており、主体的に学ぶことができるよう工夫している。
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い 別表 5	環境問題、防災安全、多文化共生、平和人権に関わる題材や事例を掲載している。 幼稚園、保育園での造形活動が図画工作科の学びにつながっていることを示し、5・6下には図画工作科の学びを振り返り、中学校美術科の学びにつながりが意識できるようなページを設けている。 各学年でタブレット端末の活用を紹介するページを設けている。	環境問題、防災安全、多文化共生、平和人権に関わる題材や事例を掲載している。 幼稚園、保育園での造形活動が図画工作科の学びにつながっていることを示し、5・6下には図画工作科の学びを振り返り、中学校美術科の学びにつながりが意識できるようなページを設けている。 中・高学年でタブレット端末の活用方法や使用上の注意点を掲載している。 「体と心をほぐすたいそう」が二次元コンテンツで視聴することができる。
	(5) 他の教科等との関連 別表 6	「あわせて学ぼう」では他教科等名とともに具体的な活動を想起させる文章を示し、教科横断的な学習への手立てになるように構成している。 低学年では生活科との関連がある題材が多く掲載している。 すべての学年で特別活動と関連させた題材を掲載し、お互いに心を通わせる活動を通して、社会の形成に主体的に参画していくことに繋げている。 各巻に「みんなのギャラリー」や「つながる造形」(中高学年)というページを設け、地域や社会とのつながりや伝統文化に関する内容を掲載している。	「つながる学び」では他教科等名を示し、教科横断的な学習ができるように構成している。 低学年では生活科との関連がある題材が多く掲載している。 すべての学年で道徳と関連させた題材を掲載し、よりよく生きていくための資質・能力を育成できるよう工夫している。 「広がる図工」で地域との繋がりを示したり、全国のさまざまな造形活動や美術館、伝統工芸、美術作品を紹介している。
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫 別表 7	ユニバーサルフォントを使用し、文字の背景色やコントラストなどに配慮し文字が読みやすいように編集している。 写真、イラストを見やすいように編集している。 まとまりごとの改行により、文章の意味が捉えやすいように工夫している。 題材をイメージしやすいよう題材名のデザインが工夫し、リード文は児童のところに語りかけ、課題をつかみ取れるようにしている。 図版に番号を記載している。 作品や児童の活動の様子の写真を大きく掲載し、楽しく活動のイメージを捉えられるように構成している。	ユニバーサルフォントを使用し、文字の背景色やコントラストなどに配慮し文字が読みやすいよう編集している。 写真、イラストを見やすいように編集している。 まとまりごとの改行により、文章の意味が捉えやすいように工夫している。 題材名、導入の言葉は発達段階を考慮し、児童がイメージしやすい工夫がされている。 作品や活動の情景の写真がたくさん掲載している。また紙面のレイアウトが整然としており、活動の流れを理解しやすいように工夫している。

教科・種目名 図画工作 調査研究事項

別表1

		9 開隆堂	116 日文
内容が取り扱われている教材名(数)やページ(数)・印・表記など	材料を基に造形遊びをする活動の配分と配列	<p>◇造形遊びをする活動は、項目を以下の2つに分類し、児童が自ら材料や場所に働きかけ発想していく活動を全学年通してバランス良く配列している。</p> <p>低学年においては、46題材中8題材16ページ配分している。</p> <p>中学年においては、44題材中6題材12ページ配分している。</p> <p>高学年においては、39題材中4題材8ページ配分している。</p> <p>「自然材料や人工材料など、材料をもとにした活動」                      ・・・・低学年4題材、中学年4題材、高学年2題材</p> <p>「材料の造形的な操作や行為をもとにした活動」                      ・・・・低学年4題材、中学年2題材、高学年2題材</p> <p>◇造形遊びをする各題材で重点的に育成を図りたい資質・能力について強調して示している3つのキャラクター（くふうさん・ひらめきさん・こころさん）が資質・能力に沿って[学習のポイント]を投げかけている。</p> <p>発想や構想、鑑賞で見方を広げること【思考力、判断力、表現力】を促している。                      ・・・・低学年4題材、中学年3題材、高学年2題材</p> <p>心を開いて楽しく活動し、友達とかかわったり、協力し合ったりすること【学びに向かう力、人間性等の涵養】を促している。                      ・・・・低学年4題材、中学年3題材、高学年2題材</p>	<p>◇造形遊びをする活動は、項目を以下の3つに分類し、児童が自ら材料や場所に働きかけ、発想していく活動をバランス良く配列している。</p> <p>低学年においては、46題材中9題材17ページ配分している。</p> <p>中学年においては、42題材中6題材12ページ配分している。</p> <p>高学年においては、39題材中4題材10ページ配分している。</p> <p>「場所からの活動」・・・低学年0題材、中学年2題材、高学年4題材</p> <p>「材料からの活動」・・・低学年6題材、中学年2題材、高学年0題材</p> <p>「行為からの活動」・・・低学年3題材、中学年2題材、高学年0題材</p> <p>◇造形遊びをする題材で、重点的に育成を図りたい資質・能力を強調して示している。マーク（手・電球・顔）が資質・能力に沿って[特に大切なめあてのヒント（表現のヒント）]を投げかけている。</p> <p>造形的な見方・考え方を働かせ、活動できるよう促し【知識や技能】の習得を助ける                      ・・・・低学年6題材、中学年1題材、高学年1題材</p> <p>発想を広げ、【思考力、判断力、表現力等】を伸ばしていけるようにしている。                      ・・・・低学年3題材、中学年5題材、高学年3題材</p> <p>◇【主体的に学習に取り組む態度】については、[学習のめあて]で、わかりやすい言葉で示し児童が主体的に学ぶことができるようにしている。</p> <p>◇題材ページにキャラクター（虫眼鏡）で[鑑賞のヒント]を示すことで、造形的な見方・考え方を働かせ、作品や活動を見ることができるようになっている。</p> <p>◇使う材料や活動する場所を選択できる題材を多く掲載している。</p>
	感じ取ったこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことを絵や立体、工作に表す活動の配分と配列	<p>◇絵に表す活動は、項目を以下の5つに分類し、全学年を通してバランス良く配列している。</p> <p>低学年においては、46題材中14題材28ページ配分している。</p> <p>中学年においては、44題材中14題材28ページ配分している。</p> <p>高学年においては、39題材中14題材28ページ配分している。</p> <p>「材料や用具の操作から表したいものを思いつく題材」                      ・・・・低学年5題材、中学年4題材、高学年4題材</p> <p>「見たことや経験をもとに表したいことを思いつく題材」                      ・・・・低学年3題材、中学年2題材、高学年3題材</p> <p>「自分の夢や願い、想像したことをもとに表したいことを思いつく題材」                      ・・・・低学年2題材、中学年4題材、高学年3題材</p> <p>「人とかかわったり伝え合ったりすることから表したいことを思いつく題材」                      ・・・・低学年2題材、中学年2題材、高学年2題材</p> <p>「版に表す題材」                      ・・・・低学年2題材、中学年2題材、高学年2題材</p> <p>◇立体に表す活動は、項目を以下の4つに分類し、それぞれに、粘土を扱ったものと様々な材料を扱ったものに分け、バランス良く配列している。</p> <p>低学年においては、46題材中7題材14ページ配分している。</p> <p>中学年においては、44題材中6題材12ページ配分している。</p> <p>高学年においては、39題材中6題材12ページ配分している。</p> <p>「材料や用具の操作から表したいものを思いつく題材」                      ・・・・低学年3題材、中学年3題材、高学年3題材</p> <p>「見たことや経験をもとに表したいことを思いつく題材」                      ・・・・低学年1題材、中学年0題材、高学年0題材</p> <p>「自分の夢や願い、想像したことをもとに表したいことを思いつく題材」                      ・・・・低学年2題材、中学年2題材、高学年3題材</p> <p>「人とかかわったり伝え合ったりすることから表したいことを思いつく題材」                      ・・・・低学年1題材、中学年1題材、高学年0題材</p>	<p>◇絵に表す活動は、項目を以下の5つに分類し、全学年を通してバランス良く配列している。</p> <p>低学年においては、46題材中14題材28ページ配分している。</p> <p>中学年においては、42題材中13題材26ページ配分している。</p> <p>高学年においては、39題材中13題材30ページ配分している。</p> <p>「材料や用具から表す題材」・・・低学年4題材、中学年4題材、高学年4題材</p> <p>「生活経験から表す題材」・・・低学年4題材、中学年3題材、高学年3題材</p> <p>「想像したことから表す題材」・・・低学年2題材、中学年2題材、高学年2題材</p> <p>「物語などから表す題材」・・・低学年2題材、中学年2題材、高学年2題材</p> <p>「版に表す題材」・・・低学年2題材、中学年2題材、高学年2題材</p> <p>◇立体に表す活動は、項目を以下の4つに分類し、それぞれに、粘土を扱ったものと様々な材料を扱ったものに分け、全学年を通してバランス良く配列している。</p> <p>低学年においては、46題材中7題材14ページ配分している。</p> <p>中学年においては、42題材中7題材13ページ配分している。</p> <p>高学年においては、39題材中8題材16ページ配分している。</p> <p>「材料や用具から表す題材」（粘土）・・・低学年3題材、中学年2題材、高学年2題材</p> <p>「想像したことから表す題材」（粘土）・・・低学年2題材、中学年1題材、高学年1題材</p> <p>「材料や用具から表す題材」・・・低学年1題材、中学年3題材、高学年2題材</p> <p>「想像したことから表す題材」・・・低学年1題材、中学年1題材、高学年3題材</p>

		9 開隆堂	116 日文
内容が取り扱われている教材名(数)やページ(数)・印・表記など	感じ取ったこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことを絵や立体、工作に表す活動の配分と配列	<p>◇ 工作に表す活動は、項目を以下の4つに分類し、全学年を通してバランス良く配列している。</p> <p>低学年においては、46題材中15題材30ページ配分している。</p> <p>中学年においては、44題材中16題材32ページ配分している。</p> <p>高学年においては、39題材中13題材28ページ配分している。</p> <p>「遊ぶものや使うものをつくる題材」・・・低学年5題材、中学年5題材、高学年5題材</p> <p>「飾るものをつくる題材」・・・低学年5題材、中学年6題材、高学年3題材</p> <p>「伝え合うものをつくる題材」・・・低学年3題材、中学年3題材、高学年3題材</p> <p>「総合的な扱いの題材」・・・低学年2題材、中学年2題材、高学年2題材</p> <p>◇各題材で重点的に育成を図りたい資質・能力1つを示し、その資質・能力を表すキャラクターが[学習のポイント]を投げかけている。</p> <p>形や色、方法や材料を知って工夫する力【知識・技能】を身に付ける観点から学習のポイントを伝えている。</p> <p>・・・低学年14題材、中学年13題材、高学年13題材</p> <p>発想や構想、鑑賞で見方を広げること【思考力、判断力、表現力】を促している。</p> <p>・・・低学年8題材、中学年11題材、高学年12題材</p> <p>心を開いて楽しく活動し、友達とかかわったり、協力し合ったりすること【学びに向かう力、人間性等の涵養】を促している。</p> <p>・・・低学年14題材、中学年12題材、高学年8題材</p>	<p>◇ 工作に表す活動は、項目を以下の3つに分類し、バランス良く配列している。</p> <p>低学年においては、46題材中11題材ページ配分している。</p> <p>中学年においては、42題材中10題材ページ配分している。</p> <p>高学年においては、39題材中10題材ページ配分している。</p> <p>「遊ぶもの・仕組みからつくる題材」・・・低学年8題材、中学年4題材、高学年4題材</p> <p>「飾る・使うものをつくる題材」・・・低学年3題材、中学年5題材、高学年3題材</p> <p>「伝えるものをつくる題材」・・・低学年0題材、中学年1題材、高学年3題材</p> <p>◇絵や立体、工作に表す活動の各題材で重点的に育成を図りたい資質・能力について強調して示している。マーク（手・電球・顔）が資質・能力に沿って[特に大切なめあてのヒント（表現のヒント）]を投げかけている。</p> <p>造形的な見方・考え方を働かせ活動できるよう促し、【知識や技能】の習得を助ける題材・・・中学年14題材、高学年15題材</p> <p>発想を広げ、【思考力、判断力、表現力等】を伸ばしていけるようにする題材・・・20題材、中学年15題材、高学年17題材</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】については、[学習のめあて]で、わかりやすい言葉で示し児童が主体的に学ぶことができるようにしている。（特に大切なめあてのヒントでは、低学年1題材、中学年1題材のみ示している。）</p> <p>◇題材ページにキャラクター（虫眼鏡）で[鑑賞のヒント]を示すことで、造形的な見方・考え方を働かせ、作品や活動を見ることができるようになっている。</p> <p>◇使う材料や活動する場所を選択できる題材を多く掲載している。</p>
	作品などを鑑賞する活動の配分と配列（自分たちの作品、身の回りの作品、身近な美術作品、製作の過程、我が国や諸外国の親しみのある作品、生活の中の造形などの鑑賞対象の内訳）	<p>◇低学年においては、46題材中2題材18ページ配分している。</p> <p>鑑賞対象の数：児童作品（9）、製作の過程（17）、身近な美術作品（9）、我が国や諸外国の親しみのある作品（9）</p> <p>◇中学年においては、44題材中2題材22ページ配分している。</p> <p>鑑賞対象の数：児童作品（23）製作の過程（19）、身近な美術作品（16）、我が国や諸外国の親しみのある作品（17）</p> <p>◇高学年においては、39題材中2題材34ページ配分している。</p> <p>鑑賞対象の数：児童作品（17）、製作の過程（28）、身近な美術作品（37）、我が国や諸外国の親しみのある作品（27）</p> <p>◇鑑賞する各題材で重点的に育成を図りたい資質・能力について強調して示している。3つキャラクターが資質・能力に沿って[学習のポイント]を投げかけている。</p> <p>発想や構想、鑑賞で見方を広げること【思考力、判断力、表現力】に向けた言葉がけ・・・低学年2題材、中学年2題材、高学年2題材</p> <p>◇題材としては、各学年1題材につき2ページで、発達段階に応じた作品について鑑賞活動をする様子を紹介している。気づいたこと・考えたこと・感じたこと等についてグループで話し合ったり伝え合ったりする姿、友達を紹介する姿、みんなに発表する姿、等を掲載している。</p>	<p>◇ 低学年においては、46題材中5題材21ページ配分している。</p> <p>鑑賞対象の数：児童作品（12）、製作の過程（24）、身近な美術作品（13）、我が国や諸外国の親しみのある作品（2）</p> <p>◇中学年においては、42題材中6題材30ページ配分している。</p> <p>鑑賞対象の数：児童作品（25）、製作の過程（47）、身近な美術作品（14）、我が国や諸外国の親しみのある作品（20）</p> <p>◇高学年においては、39題材中3題材34ページ配分している。</p> <p>鑑賞対象の数：児童作品（30）、製作の過程（23）、身近な美術作品（64）、我が国や諸外国の親しみのある作品（43）</p> <p>◇鑑賞する各題材で重点的に育成を図りたい資質・能力について強調して示している。マーク（手・電球・顔）が資質・能力に沿って[特に大切なめあてのヒント（表現のヒント）]を投げかけている。</p> <p>造形的な見方・考え方を働かせ、活動できるよう促し、【知識や技能】の習得を助ける・・・低学年1題材</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】については、[学習のめあて]で、わかりやすい言葉で示し児童が主体的に学ぶことができるようにしている。</p> <p>◇題材ページにキャラクター（虫眼鏡）で[鑑賞のヒント]を示すことで、造形的な見方・考え方を働かせがなら、作品や活動を見ることができるようになっている。</p> <p>◇使う材料や活動する場所を選択できる題材を多く掲載している。</p> <p>◇題材としては、各学年1題材につき1～2ページで、発達段階に応じた作品について鑑賞活動をする様子を紹介している。おもしろさ・よさ・美しさ等について味わったり感じ取ったりする姿、気づいたこと・考えたこと・感じたこと等についてグループで話し合ったり伝え合ったりする姿、友達を紹介する姿、等を掲載している。</p>

		9 開隆堂	116 日文
内容 が 取 り 扱 わ れ て い る 教 材 名 ( <b>数</b> ) や ペ ー ジ ( <b>数</b> ) ・ 印 ・ 表 記 な ど	感じ取ったこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことを絵や立体、工作に表す活動の配分と配列	<p>◇低学年『わくわくするね』『みつけたよ』や中学年『できたらいいな』『力を合わせて』や高学年『心をひらいて』『つながる思い』等の学年に応じた巻頭の図版、『小さな美術館』『つながる造形』『みんなのギャラリー』で、「自分たちの作品」「身近な美術作品」「製作の過程」「我が国や諸外国の親しみのある作品」幅広く図版で紹介し、掲載している。</p> <p>◇全体を通して「児童作品」「身近な美術作品」「製作の過程」「我が国や諸外国の親しみのある作品」を掲載している。</p> <p>◇形や色を見つける、さわりごこちをあじわう、つくったものを置いたり展示したりする、写真に撮ったりプロジェクターで写したりする、実際に使ってみる、絵に描く、言葉で書く、手や体を動かす、まねをする(ポーズをとる)、友だちと話し合う、学校・野外・オンライン・地域で活動する、美術館での鑑賞やワークショップに参加する、作家(アーティスト)と一緒につくる、他教科・地域・SDGsとのつながり、等の様子を写真で掲載している。</p>	<p>◇低学年『まるごとたのしもう』や中学年『ためす見つける』や高学年『わたしとひびき合う』等の学年に応じた巻頭の図版、『教科書美術館』『教科書美術館ミニ』『図工のみかた』『広がる図工』『友だちと作品を見て話そう』『アートカードを楽しもう』で、「児童作品」「身近な美術作品」「製作の過程」「我が国や諸外国の親しみのある作品」幅広く図版で紹介し、掲載している。</p> <p>◇全体を通して「児童作品」「身近な美術作品」「製作の過程」「我が国や諸外国の親しみのある作品」を掲載している。</p> <p>◇形や色を見つける、さわりごこちをあじわう、つくったものを置いたり展示したりする、写真に撮ったりプロジェクターで写したりする、実際に使ってみる、絵に描く、言葉で書く、手や体を動かす、まねをする(ポーズをとる)、友だちと話し合う、学校・野外・オンライン・地域で活動する、美術館での鑑賞やワークショップに参加する、作家(アーティスト)と一緒につくる、アートカードを使って活動する(5・6年上には、ミニ・アートカード20枚の付録付き)、他教科・地域・SDGsとのつながり、等の様子を写真で掲載している。</p>
	「A表現」と「B鑑賞」領域の関連付け	<p>◇図画工作の学習を通して育つ3つの力をキャラクターで表している。特に大切なめあてには、下線を引いて示し、資質・能力に合ったキャラクターが、活動のポイントをアドバイスしている。</p> <p>◇表現や鑑賞の活動において、子どものつぶやきを写真に吹き出しで示したり、キャラクターの吹き出しで造形的な視点を示したりして、表現と鑑賞の関連が図れるよう配慮している。</p> <p>◇鑑賞の題材と表現の題材、また題材の内容と関連の深い美術作品などが掲載された『小さな美術館』が、題材ページと連続した構成になっていたり、鑑賞を関連付けて学習したりできるように工夫している。</p> <p>低学年、『すきなものいっぱい(絵)』と『おしえてみんなのすきなもの(鑑賞)』、『さわってまぜてきもちいい(絵)』と『ちいさなびじゅつかん(鑑賞資料)』(1・2年上)、『しぜんからのおくりもの(造形遊び)』と『ちいさなびじゅつかん(鑑賞資料)』(1・2年下)</p> <p>中学年、『すきな色ですてきな花を(絵)』と『小さな美じゅつ館(鑑賞資料)』(3・4年上)、『いろいろ絵の具研究所(絵)』と『形や色からひらめいて(鑑賞)』、『木々を見つめて(絵)』と『自然の色どんな色(鑑賞)』(3・4年下)</p> <p>高学年、『地球まるごとたからばこ(造形遊び)』『この空間がいいか感じ(造形遊び)』と『小さな美術館(鑑賞資料)』、『あったらいい町どんな町(絵)』と『わたしの町のひみつ教ええます(鑑賞)』と『小さな美術館(鑑賞)』(5・6年上)、『わたしのお気に入りの場所(絵)』と『小さな美術館(鑑賞資料)』、『見て感じてわたしの表現に(絵)』と『小さな美術館(鑑賞資料)』、『墨の達人(絵)』と『墨や筆の技 水墨画の世界へ(鑑賞)』(5・6年下)</p> <p>◇身の回りにある造形や美術作品について、受動的に見るだけでなく、能動的に絵に表すなどの表現の活動を取り入れることで、表現と鑑賞を往還しながら学びを深められるような題材を設定している。</p> <p>◇各学年、巻末に『ひらめきショートチャレンジ』を1ページ設け、短時間で発想の方法を知り、気軽に実験的に楽しみながらかくことで造形的な発想の方法(見方や考え方)を学ぶことができるようにしている。</p> <p>◇各題材に二次元コードを掲載し、「鑑賞」や「発想・構想」「ふりかえり」などに使えるワークシートを利用できるようにしている。</p>	<p>◇『学習のめあて』では3観点を5項目に細分化し、育てたい力をより明確に分かりやすく示している。[思考力、判断力、表現力等]は、発想や構想のめあて(A表現)と、鑑賞のめあて(B鑑賞)の両方を示し、表現と鑑賞を往還しながら活動することを大切にしている。めあての5項目は、そのまま評価規準の観点につながる。</p> <p>◇表現や鑑賞の活動において、子どものつぶやきを写真に吹き出しで示したり、マークやキャラクターの吹き出しで造形的な視点を示したりして、表現と鑑賞の関連が図れるよう配慮している。</p> <p>◇鑑賞の題材と表現の題材、また題材の内容と関連の深い美術作品などが掲載された『教科書美術館』が、題材ページと連続した構成になっており、表現と鑑賞を関連付けて学習できるように工夫している。</p> <p>低学年、『さわりごこちはっけん(鑑賞)』と『うつしたかたちから(絵)』(1・2年上)、『であって生まれるいろのせかい(鑑賞)』と『ふしぎなたまご(絵)』『おはなしから生まれたよ(絵)』、『きょうかしよびじゅつかん(鑑賞資料)』と『だんボールに入ってみると!? (造形遊び)』『つないでつるして(造形遊び)』(1・2年下)</p> <p>中学年、『教科書びじゅつかん(鑑賞資料)』と『土をかんじて(鑑賞)』『お気に入りの葉(鑑賞)』(3・4年上)、『教科書美術館(鑑賞資料)』と『体でかんしょう(鑑賞)』、『教科書美術館(鑑賞資料)』と『光とかげから生まれる形(造形遊び)』『光のさしこむ絵(絵)』(3・4年下)</p> <p>高学年、『水から発見ここきれい!(鑑賞)』と『のぞいてみると(立体)』『ミラクル!ミラーワールド(立体)』『教科書美術館(鑑賞資料)』と『あの時あの場所わたしの思い(絵)』(5・6年上)、『もようから見つけて(鑑賞)』と『版で広がるわたしの思い(絵)』、『教科書美術館(鑑賞資料)』と『もようから見つけて(鑑賞)』(5・6年下)</p> <p>◇身の回りにある造形や美術作品について、受動的に見るだけでなく、能動的に絵に表すなどの表現の活動を取り入れることで、表現と鑑賞を往還しながら学びを深められるような題材を設定している。</p> <p>◇全ての題材ページで、ページ左上に「絵・かん賞」のように分野を示すことで、表現と鑑賞を関連付けて学習できるように配慮している。また、「学習のめあて」にも、「鑑賞のめあて(B鑑賞の活動を通して育成する思考力、判断力、表現力等)」を示している。</p> <p>◇全ての題材ページで、「特に大切なめあてのヒント(表現のヒント)」と「鑑賞のヒント」が示されており、表現と鑑賞を往還しながら学習できるように配慮している。</p>

	9 開隆堂	116 日文
<p>表現及び鑑賞の活動を通して、〔共通事項〕アに示す内容を〔共通事項〕イと関連付けながら、自分の感覚や行為を通して理解する配慮</p>	<p>◇既習の体験を児童が教科学習としての図画工作科とつなげていけるように、たくさんの写真を掲載している。マスクを着用しない、表情がよく分かる児童の写真を使用している。</p> <p>◇題材によって「共通事項」に関する気づきを促す投げかけをキャラクターの登場で示し、指導と評価の一体化が工夫している。</p> <p>◇学習の中心的な3つの目標として学習のめあてにあったキャラクターがナビゲート・アドバイザーすることで、深い学びへ児童を導くようになっている。</p> <p>◇図画工作科で大切にしたいことや育てたい力が「学習のめあて」として明示され、児童の自己評価「ふりかえり」と併せて、育てたい力との関連が明確にしている。</p> <p>◇児童が、自分の感覚や行為を通して形や色などに気づいたり、感じたりできるように造形的な視点でとらえたりする場面を写真などでたくさん掲載し知識を理解できるように配慮している。</p> <p>◇題材ごとにページ下に記載された「タブレット端末で見てみよう」では、動画で授業の導入のサポートがあり児童の個別の指導にも活用でき、授業に使えるワークシート、鑑賞シートもすぐに活用できるようにしている。</p> <p>◇色や形などの造形要素、表現技法や材料、用具の知識が巻末に「学びの資料」として系統的に掲載している。</p> <p>◇児童の作品作りにかかわる表情や添えられたコメントから、〔共通事項〕アの知識と自分のイメージを関連づけて学習したことに気づくことができる配慮している。</p>	<p>◇既習の体験を児童が教科学習としての図画工作科とつなげていけるように、たくさんの写真を掲載している。</p> <p>◇題材によって「共通事項」に関する気づきを促す投げかけを記号で示している。（育てたい3つの力 3つの記号）指導と評価の一体化が工夫している</p> <p>◇「学習のめあて」では、3観点を5項目に細分化し、育てたい力を明確にすることで（A表現）と（B鑑賞）の両方を示し縦貫しながら活動することを大切にしている。</p> <p>◇児童が、自分の感覚や行為を通して形や色などに気づいたり、感じたりできるように造形的な視点でとらえたりする場面を写真などでたくさん掲載し、知識を理解できるように配慮している。</p> <p>◇題材ごとにページ下に記載された「タブレット端末で見てみよう」では、動画で材料の使い方や作品例があり児童の指導に活用できるように工夫している。</p> <p>◇色や形などの造形要素、表現技法や材料、用具の知識が巻末に「材料と用具の引き出し」として系統的に掲載されており確実に習得できるように構成している。</p> <p>◇題材の中で、道具の使い方も含み、見開きで学習の流れが理解できるように配列している。</p> <p>◇「図工のみかた」では、身の回りにある形や色などを造形的な見方・考え方でとらえることを促し知識の習得につなげられるような工夫している。</p> <p>◇児童の作品作りにかかわる表情や添えられたコメントから、〔共通事項〕アの知識と自分のイメージを関連づけて学習したことに気づくことができる配慮している。</p>
<p>発達段階に応じた材料や用具とその取扱いの配慮</p>	<p>◇表紙に意欲を喚起することば「わくわくするね」などがその学年で使用する材料を使用し工夫された文字で記されておりそれが、導入へとつながっている。それと児童作品が全面に掲載している。</p> <p>◇巻末の「学びの資料」で各学年に応じた用具・材料の知識や使い方を示している。その際、タブレット端末で、用具の使い方や片付け方が確認できる。（二次元コード）</p> <p>◇「表現したい」児童の気持ちに答えるように、教科書の巻末等に「学びの資料」を掲載している。</p> <p>◇これまでの学びを振り返ることで、児童が学んだことを自覚し、次の学びへと生かすことができると考え、幼児期との接続ページ、中学校との接続ページを設けている。</p>	<p>◇表紙にめあて「まるごと たのしもう」などが印刷されており、それと児童作品が全面に掲載している。</p> <p>◇巻末の「材料と用具のひきだし」で各学年に応じた用具・材料の知識や使い方を示している。その際、タブレット端末で、用具の使い方や片付け方が確認できる。（二次元コード）</p> <p>◇幼児期に学んだことを十分に生かし、自信をもって学習活動に取り組めるように1.2上の巻頭に特設ページを設け、接続題材の活動など安心して取り組めるように工夫している。</p>

教科・種目名 図画工作 調査研究事項

別表3

	9 開隆堂	116 日文
知識及び技能を活用して、発想や構想をしたり、自分の見方や感じ方を深めたりする学習活動を充実させる配慮	<p>◇題材紙面については、学ぶことへの意欲を引き出せるよう材料・大きさなどバリエーション豊かに作品の掲載や児童が真剣に試行錯誤する姿を紹介し、「やってみたい」気持ちを大切に、発想や構想に結び付けている。</p> <p>◇1つの題材においても題材名と分かりやすいリード文で、児童の意欲を高め、材料や構想の異なる作品を紹介し、思考を豊かに広げられるように配慮している。</p> <p>◇題材ごとに、3つの視点のキャラクターが登場し見方や感じ方が深まるように言葉を投げかけ、工夫している。</p> <p>◇授業から生まれた児童作品だけでなく我が国や諸外の多様な作品が掲載され造形的な良さや美しさを見つけられるよう構成している。</p> <p>◇発想や構想を広げることが中心的な課題となっている題材においては紙面で発想や構想を促すような投げかけや二次元コードから、「アイデアシート」をコンテンツとして利用できる。特に「ひらめきチャレンジシート」では、短時間で発想の方法を知り（見方や考え方を）学ぶことができるようにしている。</p>	<p>◇題材紙面については、学ぶことへの意欲を引き出せるよう材料・大きさなどバリエーション豊かに作品の掲載や児童が真剣に試行錯誤する姿を紹介し、発想や構想に結び付けている。</p> <p>◇1つの題材においても題材名とリード文で、児童の意欲を高め、材料や構想の異なる作品を紹介し、思考を豊かに広げられるように配慮している。</p> <p>◇題材ごとに「鑑賞のヒント」がキャラクターで登場し、見方や感じ方が深まるように言葉を投げかける工夫をしている。</p> <p>◇絵や工作の題材ページでは、アイデアスケッチを掲載することで、児童がどのように発想や構想を広げていけばよいかを考える際のヒントを示している。</p> <p>◇発想に悩む児童に「図工の見方」を見て考えてみるように働きかけの工夫がある。</p> <p>◇友達と協力して活動することを通して、さまざまな発想や構想、アイデア、表し方などがあることを互いに気づけるように題材を設定している。</p>
言語活動（スケッチ等を含む）によって、思考力・判断力・表現力等の育成を図る配慮	<p>◇タブレット端末を用具の一つとしてとらえプログラミングに関する事例も掲載している。</p> <p>◇発想を広げる「アイデアシート」鑑賞を深める「かんしょうシート」評価の手立てとなる「ふりかえりシート」など、ダウンロードして使えるにしている。</p> <p>◇どの題材においても、一人で思考を巡らせている様子、友達と語り合っている様子が表情豊かな写真と吹き出しにより、言語による交流が自然と生まれるよう配慮している。</p> <p>◇「あわせて学ぼう」では、他教科との関連が示している。</p> <p>◇自然が豊かな場所で造形活動を行ったり、自然の事物をモチーフとした表現活動を行ったりすることで豊かな思考力・判断力・表現力を伸ばせるように工夫している。</p>	<p>◇二次元コードから、体と心をほぐして、授業に向かう気持ちを作れるよう、8種類の「体と心をほぐすたいそう」視聴することができるにしている。</p> <p>◇どの題材においても、一人で思考を巡らせている様子、友達と語り合っている様子が表情豊かな写真と吹き出しにより、言語による交流が自然と生まれるよう配慮している。◇高学年では、過程が見える紙面構成になっており、児童が思考の整理をし、表したいことを見つけられるように工夫している。</p> <p>◇「つながる 学び」では、他教科との関連が示している。</p> <p>◇題材ページに「特に大切なめあてのヒント」を示すことで、児童が発想を広げ、思考力、判断力表現力等を伸ばせるように工夫している。</p>

別表4

	9 開隆堂	116 日文
児童が主体的に学ぶことができる配慮	<p>◇目次ページは、児童が活動する写真が掲載され、学年全体の活動の内容と目標が一目でわかるように構成され、題材への意欲・関心を引き出せるよう工夫している。</p> <p>◇各学年の最終ページ「これまでのふりかえりをしよう」やタブレット端末で利用できる振り返りのワークシートで、1年間の学習でどのような資質・能力が身についたか確認できるように構成している。</p> <p>◇各学年の巻末（58～65ページ）に、「学びの資料」があり、材料や用具に関する創造的な技能、造形的な見方・考え方を身につけられるように支援している。</p>	<p>◇各巻の巻頭に「教科書の使い方」や「学習の進め方」記してあり、図画工作科で何をどのように学ぶのが簡潔に示されており、児童はこれを手がかりに学習に向かうことができる。</p> <p>◇すべての題材で、「学習のめあて」が示され、見通しを持って学習に臨み、最後の「ふりかえり」で身に付けた力を確認することができるように構成している。</p> <p>◇多種多様な作品を掲載し、表現の幅の広さを児童に示し、表現への安心感を持たせるように工夫している。</p>

教科・種目名 図画工作 調査研究事項

別表5

	9 開隆堂	116 日文
発展的な学習や今日的な課題を行う際に取り上げる資料や扱いにおける配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇造形遊びでの表現を次の題材の表現に発展させたり、表現と鑑賞を一体的に扱えたりと、学習内容を先々の題材で活用できるように構成している。</li> <li>◇多文化共生の観点から「外国の友達の作品」として、各学年で海外の児童作品を掲載している。</li> <li>◇「つながる造形」では国際交流や福祉に関わる内容を掲載している。</li> <li>◇安全・防災につながる後片付けについて各題材に示している。</li> <li>◇安全指導として、道具の使い方ポイントを写真やイラスト、二次元コンテンツで具体的に示している。</li> <li>◇各学年にタブレット端末を使おう」のページを設け、発達段階に応じて活用例を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇環境問題、防災安全、伝統文化、多文化共生、平和・人権などの観点から組まれた題材が盛り込まれ、現代的な課題を自分ごとかつ図工的な仕方で向き合うよう工夫している。</li> <li>◇資源・環境の観点から、プラスチック製の材料を使用する題材を削除、違う材料への変更しプラ材を70%削減している。</li> <li>◇かたづけマークで用具や材料を再利用や環境問題に関心が高めるように工夫している。</li> <li>◇多文化共生の観点から外国の児童に作品やオンラインで外国の児童と交流する事例を掲載している。</li> <li>◇中学年と高学年で「材料と用具のひきだし」でタブレット端末の活用方法や、インターネットを使用する時の注意点を掲載している。</li> </ul>

別表6

	9 開隆堂	116 日文
他教科との関連付け（関連を示す印）などの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇各題材の「あわせて学ぼう」では、教科名と具体的な活動例を示し、教科横断的な学習の手立てとなるように構成している。</li> <li>◇「つながる造形」（中学年・高学年）や「みんなのギャラリー」（p56～57）で、関連する教科と結びつけられるよう工夫している。</li> <li>◇低学年は、生活科と関連した題材や事例が多く掲載し、高学年で、プログラミングと関連した題材を掲載している。</li> <li>◇すべての学年で特別活動と関連した題材を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇題材ページや特設ページに「つながる学び」を掲載し、関連する教科と結びつけられるように工夫している。</li> <li>◇低学年は、生活科と関連した題材や事例を多く掲載している。</li> <li>◇中学年と高学年で、プログラミングと関連した題材を掲載している。</li> </ul>
総合的な学習の時間との関連への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇各学年それぞれに総合的な学習の時間と関連付けた題材を設定している。</li> <li>◇SDGsに関する事例も多く掲載され、生命を尊び、環境の保全に寄与する態度を養うことに繋げている。</li> <li>◇題材ページにSDGsコラムがあり、SDGsに関わる造形的な取り組みを紹介している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇身近な社会や環境問題からテーマを考え、「あったらいいな」や未来の「わたし」を思い描く題材があり、総合的な学習の時間と関連付けて学習ができるよう設定している。</li> <li>◇児童が図画工作科とのかかわりを通して、環境、地域文化・伝統文化、多文化共生、国際理解、平和・人権、防災・安全に関わる題材や事例が取り上げている。</li> </ul>
特別の教科 道徳との関連への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇低学年と高学年に道徳と関連付けた題材を設定している。</li> <li>◇友達と協力した表現活動では、お互いの心を通わせる活動を意識し、お互いの良さを感じあえるよう工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇すべての学年において、道徳の教科につながる題材を設定している。</li> <li>◇学習内容が道徳と関連性の高いページについて、「つながる学び」で「道徳」と示し、道徳の内容項目と関連を意識しながら学習できるように配慮している。</li> </ul>

教科・種目名 図画工作 調査研究事項

別表7

		9 開隆堂	116 日文
ユニバーサルデザインに向けた取組例		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇色覚特性の有無にかかわらず全ての児童が等しく学べるよう、コントラストや配色、レイアウトが充分配慮されて編集している。</li> <li>◇ユニバーサルフォントを使用し、見やすく読み間違えないようにしている。</li> <li>◇特別支援教育の専門家の校閲があり、カラーユニバーサルデザインに配慮している。</li> <li>◇文章のまとまりごとの改行により、すべての児童が文章の意味が理解しやすいように配慮している。</li> <li>◇各学年、多様性を意識し、海外児童の作品を掲載している。</li> <li>◇題材名は、文字も強調されたデザインで、見やすいように工夫している。</li> <li>◇当該学年配当漢字にふりがなをつける総ルビや、各図版に図版番号を付すなど配慮している。</li> <li>◇ピクトグラムやユニバーサルデザインの商品、多様な人々つながることについて考えるページを設けている。『つながる造形 人とともに未来をつくる』（5・6年下）</li> <li>◇作品が大きく掲載されていることはもちろん、大小のメリハリをつけることで紙面に動きをもたせ見やすい構成となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇色覚特性の有無にかかわらず全ての児童が等しく学べるよう、コントラストや配色、レイアウトが充分配慮されて編集している。</li> <li>◇ユニバーサルフォントを使用し、見やすく読み間違えないようにしている。</li> <li>◇特別支援教育の専門家の校閲があり、カラーユニバーサルデザインに配慮している。</li> <li>◇文章のまとまりごとの改行により、すべての児童が文章の意味が理解しやすいように配慮している。</li> <li>◇題材名は、見やすく楽しく取り組めるデザインになっており、学年に合わせて文字の大きさが調整している。</li> <li>◇家族や高齢者、地域の方などに対して、思いやりが持てる人間性を育めるよう工夫した題材が掲載されている。『つながるぞう』（1・2年下）、『みんなとつながる』（3・4年上）、『幸せを運ぶカード』（3・4年下）、『ふれて伝わるストーリー』『どんなことをどんな方法で』『美術館へ行こう』（5・6年上）</li> </ul>
作品例等、資料の取扱い	ユニバーサルデザインに向けた取組例	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇図版・写真などと学習内容の関連</li> <li>◇題材ごとに作品や児童の楽しい活動の様子を大きく示している。</li> <li>◇全学年、巻末に「学びの資料」があり、用具や材料について写真やイラストで詳しくまとめている。特に注意する点においては、手元をクローズアップしてわかりやすく掲載している。</li> <li>◇各題材の学習内容を動画で示したり、児童の多様な作品を2点ずつ掲載したり、タブレット端末でみられる動画などのコンテンツが充実している。</li> <li>◇学習のめあてに対応した情景写真が掲載している。写真の掲載の仕方に大小のメリハリがあり、活動の過程の様子が分かりやすく掲載している。</li> <li>◇作品の図版は、児童の発想・構想が読み取りやすいように一部を拡大して掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇題材事に作品や活動の情景写真が多く掲載している。</li> <li>◇全学年、巻末に「学びの資料」があり、用具や材料について写真やイラストで詳しくまとめている。特に注意する点は、手元をクローズアップしてわかりやすく掲載している。</li> <li>◇巻頭に授業びらきができるオリエンテーションページが掲載され、「図画工作科でたいせつにしたいこと」を新年度に確認でき、児童と共有ができる仕組みになっている。</li> <li>◇学習のめあてに対応した情景写真が掲載している。活動の過程の様子が分かりやすく掲載している。</li> <li>◇作品の図版は、児童の発想・構想が読み取りやすいように一部を拡大して掲載している。</li> </ul>
	本文、資料、挿絵、写真、図、作品例などのレイアウト	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇題材名のデザインが活動内容と関連したものになっており、児童が題材をイメージしやすい。図版番号の記載、文章のまとまりごとに改行している。</li> <li>◇文字の大きさも発達段階に合わせて、差をつけている。</li> <li>◇真剣に取り組む児童や楽しそうな笑顔の児童、資質・能力が発揮されている児童など、表情がわかりやすい写真を掲載している。</li> <li>◇学びの資料では、「ひらめきショートチャレンジ」があり、タブレット端末から二次元コードを読み取って、ワークシートで学習ができ、短時間で造形的な見方や考え方を知り、表現活動を活発化させることができる。</li> <li>◇作品コメントや吹き出しでは、活動や作品に関しての児童がイメージしたことや発想・構想したことが言葉で示され、児童が活動の内容を理解しやすい。</li> <li>◇各題材の二次元コードから、学習内容の動画、用具や技法の動画、教科書掲載以外の児童作品、作品を360度回転させて鑑賞、作家などからのメッセージ動画を見ることができる。</li> <li>◇アイデアシート、作品カード、鑑賞シート、ふりかえりシートなどが充実し、児童の学習をサポートしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇紙面全体が整然としており、児童が活動の流れを理解しやすいよう工夫している。</li> <li>◇児童実態に応じて、活動方法を変えられるように、同一題材で屋内・屋外、自然材・身近材、個人・協働などの複数の実践パターンが示している。</li> <li>◇高学年では、活動の流れがより明確化され、思考の整理ができ、児童それぞれが表現したい方法をみつけられるように工夫している。</li> <li>◇題材名や導入の言葉は、児童の興味関心を引き出す文言であり、題材のイメージを広げられるように工夫している。</li> <li>◇題材ページの作品コメントや吹き出しでは、活動や作品に関しての児童がイメージしたことや発想・構想したことが言葉で示している。</li> <li>◇二次元コードのコンテンツが充実し、材料用具の使い方、仕組みのつくり方、児童作品（中には、360度回転してみることでできる作品あり）、ものづくりに携わる人たちからのメッセージ動画、作家インタビュー、伝統文化の動画解説、8種類の「ぞうたいそう」、物語や詩などをもとに発想を広げて表す題材には、朗読音声も用意している。</li> </ul>
地域や学校の実態に合わせて活用できる構成		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇3・4年上から5・6年下にかけて、図画工作と社会とつながるページ「つながる造形」を設定し、『学校内の身近な他者を意識した活動』から始まり、学年を追うごとに扱うテーマが社会全体へと広がる構成になっている。</li> <li>◇地域の伝統工芸や表現を通しての人とのつながりを紹介するページがあり、造形活動を通して身近な地域を知ることができる。</li> <li>◇「みんなのギャラリー」（全学年P56～57）では、日本の伝統文化に触れ、そのよさを味わうページ構成になっている。</li> <li>◇「小さな美術館」では、身近な作品や日本の伝統的な作品などを鑑賞できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇他教科、家庭、地域につなげられるように該当する題材について「つながる学び」マークをつけてわかりやすく示している。</li> <li>◇伝統工芸や伝統美術・文化などについて取り上げられ、伝統文化の良さや美しさに気づき、受け継ぐ気持ちを育むための工夫が丁寧に作り込まれており、題材にも繋げている。</li> <li>◇学びを地域につなげることができるように、地域の方との協働事例を1・2下裏表紙、5・6上P37～38に掲載している。</li> </ul>